

21. 東邦大学医学部 (私立)

Toho University, School of Medicine, Faculty of Medicine

<http://www.med.toho-u.ac.jp/>

〒143-0015 東京都大田区大森西5-21-16

電話03-3762-4151

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を学習要項（教育ポータル）という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらずすべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは3日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：3日間

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

- 1年生は、平均して週3時間×年間2回である。
- 2年生は、平均して週3時間×年間2回である。
- 3年生は、平均して週3時間×年間25回である。
- 4年生は、平均して週3時間×年間15回である。

自習用に割り当てられている時間は

- 1年生は、平均して週3時間×年間2回である。
- 2年生は、平均して週3時間×年間2回である。
- 3年生は、平均して週3時間×年間25回である。
- 4年生は、平均して週3時間×年間15回である。

チューターは学年により異なっていて一般教養系、基礎医学系、臨床医学系を問わない。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、

行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

本学では平成16年にカリキュラムの大幅な改訂を行っており、その時点でモデル・コア・カリキュラムを全面的に取り入れている。

K. 今後のカリキュラム改訂は平成22年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

一般教育の充実と成人型学習

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

チュートリアルの充実と臨床実習の充実

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない。

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にではない。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約10%である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生は30%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されてはいない。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムはない

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
(20日間)
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週40時間で、38週間である。
6年の時、1週44時間で、8週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）
で臨床実習を行っている。
その期間は全部で8週で、そこで行う実習科目は（自由選択）である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは一部の臨床実習実施科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の
範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
マニュアルが刊行されている。
事前に学習枠を設けて学習している。
保険制度に加入している。
ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。
期間は最長 臨床実習は12週である。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。
時期は11月で、期間は2週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、総括講義が組まれている。
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。
その評価結果は昇進などに関係しない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	4	13	65			82
	准教授	2	9	46			57
	講 師	8	12	69			89
	助 教	2	29	196			227
	その他	5	3	0			8
	合 計	21	66	376	0	0	463

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授						0
	准教授						0
	講 師	34	21	426			481
	助 教						0
	その他			295			295
	合 計	34	21	721	0	0	776

- * 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。
- ** 基礎は社会医学を含む。
- *** 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

教授（病院）5年
准教授（病院）5年
講師（病院）5年
レジデント6年

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	107	41		6			
2	104	37		7			
3	103	42		6			
4	108	33		14			
5	92	36		9			
6	106	40		16			
合計	620	229	0	58	0	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1,887名、合格者数100名、倍率18.8倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数定員0名）

入学者の状況：現役39名、1浪26名、2浪17名、その他18名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1,541名、合格者数100名、倍率15.4倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数定員0名）

入学者の状況：現役34名、1浪38名、2浪16名、その他12名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

大学・病院が都市にあるので、どのような取り組みができるか、検討したいと考えている。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		0	0	0
2		○		0	0	0
3		○		0	0	0
4		○		0	0	0
5	○			0	0	0
6	○			0	0	0

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は5年はある。

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A	B		C	I	J
		D	E		
	F				
	G				
	H				

- (註) A：医学教育準備科目
 B：基礎医学科目
 C：臨床医学科目
 D：社会医学科目
 E：実習・演習ユニット
 F：選択科目
 G：PBLチュートリアル
 H：人間性教育コース
 I：臨床実習ノート
 J：臨床実習科目（臨床実習）

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
健康心理学	17	24	41
英語総合／英語総合基礎	96		96
基礎物理学	21		21
基礎生物	21		21
基礎化学	14		14
運動科学	12		12
物理学	17	36	53
人体生物学	18		18
細胞生物学	19	24	43
生体有機化学	14		14
生体無機化学	14		14
化学実習		30	30
医学情報学	29	17	46
生化学（基礎編）	23		23
「組織学総論」ユニット（講義）	9		9
「組織学総論」ユニット（実習）		9	9
運動器（骨格系）ユニット	5	15	20
「細胞生理」ユニット	12		12
「血液・リンパ系」ユニット	10		10
「内分泌系」ユニット	13		13
全人的医療教育〔Ⅰ〕	40	18	58
PBL テュートリアル入門	18		18
呼吸器系	11		11
循環器系	14		14
消化器系	13		13
腎・泌尿器系	12		12
生殖器系	8		8
運動器（筋）系	11		11
中枢神経系	30		30
感覚器系	11		11
「末梢神経系・自律神経系」ユニット	13		13
人体発生学	20		20
マクロ形態（肉眼解剖）		99	99
ミクロ形態（組織）		42	42
生理機能（生理・薬理）		45	45
生化学（応用編）	28	36	64
病理学総論	40	18	58
薬理学総論	25	7	32
医動物学	10		10
微生物学	47	33	80
免疫学	21	18	39
放射線医学	24		24
全人的医療教育〔Ⅱ〕	24		24
基礎統合演習Ⅱ「PBL テュートリアル」	30		30
臨床医学入門	19		19
外科学総論（Ⅰ）	6		6
臨床遺伝学	9		9
「呼吸器系・胸壁」	90	3	93
「循環器系」	114	3	117
「腎臓学・電解質」	54	2	56
「脳・神経系」	70	3	73
「内分泌学、代謝・栄養学」	58	3	61
「消化器系」	98	3	101
「膠原病・アレルギー学」	38		38
「感染免疫総論」	12		12
「血液・腫瘍学」	27	3	30

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
「加齢・高齢医学」	9		9
「眼科学」	18		18
「耳鼻咽喉科学」	18		18
「皮膚科学」	18		18
病理学各論（Ⅰ）実習	21		21
EBM入門	12		12
全人的医療教育〔Ⅲ〕	12		12
衛生学・公衆衛生学	43		43
法医学	21		21
統合型社会医学実習（衛生学、公衆衛生学、法医学）	4	28	32
「産科婦人科学」	85	8	93
「小児科学」	109		109
「運動器（リハビリテーション）」	61	3	64
「精神科学」	40		40
「心身医学」	22		22
「泌尿器」	18		18
「救急医学」	15		15
「麻酔学」	18		18
「画像診断・放射線学」	18		18
「形成外科」	6		6
行動科学	18		18
治療学・輸血学	6		6
病理学各論（Ⅱ）実習	18		18
「診断学実習」	13	35	48
「症候・病態学演習」	12		12
「検査医学演習」	8	12	20
全人的医療教育〔Ⅳ〕	15		15
総合臨床講義	64		64
臨床実習入門	20		20
全人的医療教育〔Ⅴ〕	3		3
臨床実習5年		216	216
集中臨床講義	56		56
臨床実習6年		48	48
合計	2210	841	3051

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1学年	422	173	595
2学年	392	298	690
3学年	703	20	723
4学年	550	86	636
5学年	87	216	303
6学年	56	48	104
合計	2210	841	3051

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（必修）、人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、行動科学（必修）、医学外国語（選択）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、医療情報学（必修）、高齢医学（必修）、臨床医学（必修）、人間関係学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医用（電子）工学、医療福祉学（医療社会福祉学）、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置していない。